

## エゾシカワーキンググループ経過報告・今後の予定

### 1 H21シカ年度 第2回エゾシカワーキングの概要（平成21年10月30日開催）

#### (1) 主な議題

- ・ H21シカ年度エゾシカ保護管理計画実行計画の実施状況
- ・ エゾシカ密度操作実験の中間評価と今後の進め方
- ・ エゾシカ関連中長期モニタリングと評価指標

#### (2) 知床岬における密度操作実験の実施結果

- ・ H20シカ年度は、3年計画の2年目としてメス成獣120頭以上の捕獲を目標。
- ・ 11月から5月までに、大人数による日帰り捕獲を9回実施。
- ・ 流水明け直後の捕獲が実施できなかったことや捕獲効率の低下が見られた。
- ・ 捕獲数は以下の表のとおりであり目標には到達できなかった。

	H20シカ年度	(参考)H19シカ年度
メス成獣捕獲頭数	76	89
総捕獲数	122	132

#### (3) 知床岬の密度操作実験の中間評価と今後の密度操作実験について

- ・ 平成21年の夏に石川委員及び宮木委員の協力により実施した知床岬地区の植生調査では、ガンコウラン群落およびイネ科草本群落に回復傾向が見られた。
- ・ そのため、3年間で個体数を半減するという目標の達成は困難であるが、植生に回復傾向が見られており、引き続き密度操作を実施し、回復状況を把握することが重要。
- ・ H21シカ年度は、引き続き知床岬地区において密度操作実験を実施することとする。捕獲効率の向上を目的として、捕獲最適期である2月にヘリコプターを用いて知床岬地区にアプローチし、捕獲を実施する。
- ・ 捕獲効率を向上させるため、銃猟の補助を目的とした知床岬地区を横断する仕切柵の設置について引き続き検討する。
- ・ ルサ相泊地区等において実施可能な低コストでの捕獲手法について検討を進める。

#### (4) 中長期モニタリングと評価指標

- ・ 世界遺産センターとIUCNからの勧告10と勧告11に関する対応方針について検討を進める。

### 2 今後の主な予定

平成22年1月～5月 H21シカ年度（冬期）密度操作実験

平成22年6月頃 第1回エゾシカワーキング

- ・ 知床岬地区の密度操作実験の評価と今後の密度操作実験が主要検討課題